

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

「押しくらまんじゅう」 歓声あがった幼等も古
希を越えたか面影よぎる 佐藤 啓子
透析に生かされ来たるわが身なれど夫の迎え
の近づけるべし 平岡 久子
友達の寄越ししハガキの返事にもまなぬ
此の指のふるえや 菅野ちさよ
宝なる洋裁ノートや「装苑」を開きて偲ぶ学
びたる日々 八嶋 正子
パン屑をちぎりにて撒けば雀たち屋根に並びて
せわしく動く 阿部はぎの
庭先に早くも咲ける紅梅が風巻く朝さらされ
ている 遠藤 舞
両陛下の比島ご訪問ありがたしわが義弟は
海に眠れる 高子うぶん
妻を亡くし友は法然にこそ寄せ生き様写す
か詞と曲つくる 門脇 貞造
とほき日よタイタイノトンデイクとわが
背を亡母はさすり呉れたる 寺崎 悦子
高千穂の峰偲びつつ白石の介護施設に記念日
祝う 山田 濱

【評】一首目、初句の音数は勢いだ。作者もこ
のご年齢ぐらいか。四句目が生きている。
二首目、病院生活の作者、息子さんご夫婦
らが元気づけて居られると聞くが、こころ細
いこともある。「べし」は、推量。
三首目、いつもご自身の老いを真つ向から
詠まれる。ペンを執るお姿が思われる。

俳壇

山家 弘子 選

こけし挽く音や四方に雪の山
臘梅の花咲く庭や焼香す 服部 忠孝
風光るマイク片手に城ガイド 別当内信夫
鎌先の宿にほろほろはだれ雪 星 明
曾孫の生えし前歯や春立ちぬ 沼田 営火
一升瓶持参の友と梅見かな 高子うぶん
岩澤 伍峯

いただきし臘梅活けて香に浸る 大庭美智子
枝の雪どつさりこんと落としけり 門脇 貞造
足跡を辿りて進む雪の道 末吉アツ子
風呂吹の湯気も馳走の一つかな 佐藤 啓子

【評】一句目、鎌先の弥治郎のこけし工房での
作であるうか。物音一つしない深閑とした山
里は轆轤を挽く音が鳴りひびいている。遠く
の蔵王も四方の山々も雪で真つ白。民話のよ
うな景が描けた。
二句目、弔問に一步足を踏み入れると高貴
な香りが……。その香りに誘われて行つてみ
ると、見事な臘梅が今を盛りに青空に品良く
咲いている。亡くなった人も上品で清々しい
人であったと、仏壇に焼香をしながら偲んだ
のであるう。

三句目、今年の大河ドラマは「真田丸」。
片倉小十郎との繋がりもあり、観光客が増え
ている。マイクを片手に白石城などをガイド
する人たちも自ずと熱が入る。風光るとい
う季題がピッタリ。

柳壇

四電 英夫 選

初日の出世界平和に手を合わせ
ポイントに誘われカード増え続け 小室 蓉子
人の世を欲が狂わす横流し 佐藤 啓子
うっかりと滑った口が悔やまれる 末吉アツ子
朝起きのコップ一杯金の水 菅野 清
福よ来い豆に願いを込めて撒き 菅野ちさよ
古希迎え苦勞を語る共白髪 村上 照夫
健康志向紫煙の肩身狭くなり 遠藤 松雄
卒寿過ぎ明日のことなど考える 門脇 貞造
マフラーに友の手編みの温かさ 高子うぶん
大庭美智子

【評】一句目、依然として続くテロや紛争。果
ては核実験・ミサイル発射と止まるところを
知らない。平和を祈る作者の心情が伝わる。
二句目、お得です。今だけこだけあなた
だけ。その上ポイント倍になる。消費者心理
を巧みに突くセールのカードは財布満杯。
三句目、廃棄するはずの食品が再び店頭に。
全ては欲から発した事件。「浜の真砂は尽きる
とも世に盗人の種は尽きまじ」五右衛門……

小中学生16人と2団体を顕彰 吉見教育基金顕彰事業顕彰状授与式

スポーツや芸術で顕著な功績を
上げた小中学生をたたえる
「平成27年度吉見教育基金顕彰事業
顕彰状授与式」が3月13日、ホワイ
トキューブで行われました。

この基金は、平成9年に解散した
和洋裁学校「吉見学園」の理事長を
務めていた吉見たけさんから、「子
どもたちの教育に役立ててほしい」
と寄付された現金を基に設立。次の
小中学生たちに顕彰状が授与されま
した。

■被顕彰者（敬称略）

●個人（スポーツ部門）

白石第一小：星野太希（新体操）・
鈴木陽大（新体操）・神原大翔（陸
上）・菅野宏大（卓球）
白川小：佐藤大空（陸上）
白石中：氏家透也（新体操）・
森泰樹（ソフトテニス）

東中：永倉秀涼（陸上）
福岡中：佐藤晃洋（ソフトテニス）
小原中：高橋未来（陸上）
●団体（スポーツ部門）
東中学校男子新体操部
●個人（芸術部門）
白石第一小：大和啓人（版画）・

古山快和（毛筆）
白石第二小：内田瑠璃（ピアノ）・
古山美月（硬筆）
福岡小：佐藤蓮（版画）
東中：阿部こころ（管打楽器）
●団体（芸術部門）
東中学校吹奏楽部



▲式典終了後、風間市長、武田教育長、角張白石文化体育振興財団理事長と記念撮影